

「共生社会をつくる」ということ

～障がいと共に生きる命を受けとめられる地域において

私たちにできることは～

■日 時:令和3年1月30日(土) 10:00～16:00 (9:30開場 9:50までにご入室ください)

■会 場:お好きな場所で(ZOOM 開催)

※サテライト会場(県下5ヶ所)については開催要項(県生涯学習課 HP に掲載)をご確認ください。

■参加費:無料(通信費等は自己負担となります)

■申込方法:【申込宛先】E-mail:syogaks@pref.miyagi.lg.jp

【件名】「1月30日コンファレンス申込み」とご記入ください。

<方法①> 県のHPよりダウンロードできる申込用紙(Excel データ)に必要事項をご記入・添付し、メールにてお申し込みください。

<方法②> メール本文に下記の内容を記入してお申し込みください。

- 【本文】 1.名前 2.ふりがな 3.都道府県・市町村名
4.所属・役職(所属などが無い方は「一般」)
5.社会教育経験年数(社会教育の仕事に携わったことのある方のみ)
6.ZOOM にサインインしているメールアドレス
7.研修会当日の使用端末(パソコン・タブレット等)
8.希望サテライトの【名称】(サテライト希望者のみ:開催要項参照)

※申込みいただいたメールに案内メールをお送りします。

※1台の端末から複数名で参加される場合は、参加者全員の情報をご記入ください。

■申込締切:令和3年1月25日(月)正午まで

■その他:①障がいなどの理由により、支援の必要な方はご相談ください。

②本研修は、参加者相互の話し合いに参加していただく時間を位置づけております。

③プログラムの関係上、10:00～16:00 までの全日程のご参加を原則といたしますが、やむを得ず部分参加の方は、事前にご連絡ください。

④ZOOM を初めて体験される方に接続確認等の時間をご用意します。

[日程] 1回目:1月21日(木)15:30～16:00

2回目:1月26日(火)19:00～19:30

(詳細は後日、申し込みメールへの返信でご連絡いたします。)

■問合せ:宮城県教育庁生涯学習課社会教育支援班

TEL:022-211-3653

E-mail:syogaks@pref.miyagi.lg.jp

文部科学省
共生社会コンファレンス HP



私たちがいま生きている社会は、「能力」や「生産性」、社会への「貢献」という価値尺度で人間を評価するという考え方が強い社会です。

この考え方は、私たち一人ひとりの考え方に根深く入り込んでいます。一見するとこれは「合理的」な考え方ですが、この考え方に浸かるがあまり、人として大事なことを見落としたり、この考え方が自らに跳ね返って傷ついている人が実に多い、というのが、この社会の現実なのではないでしょうか。

しかし、この不寛容な考え方を、この考え方によって最も不当に軽んじられがちな「障がいと共に生きる人たち」に向きあい、その存在に学び、共に学び合うことで、地域で越えていこうとする実践が、東北でも、少なからず現れています。

この研修では、障がいと共に生きる人たちに向き合い続けてきた人たちのご経験や、そのことを通してたどり着かれた人間理解・社会理解に学びながら、そこからみえる私たちの弱点、ひいては社会の弱点を、地域から越えていく方法について、考え合います。

Program

- 9:30 開場
9:50～諸連絡
10:00～開会行事
10:10～趣旨説明
10:25～調査報告
(東北大学教育学部学生有志)
11:20～グループワーク①
12:00～休憩(動画上映)
13:00～話題提供 I
きらりよしじまネットワーク
13:30～グループワーク②
13:50～休憩
14:00～話題提供 II
奏海の杜
14:30～グループワーク③
14:50～休憩
15:00～シンポジウム
15:30～グループワーク④
15:50～閉会行事
16:00 終了

※当日の進行状況により、多少の変更が予想されますので、ご了承ください。

～調査報告～

- 「障がいを抱えて生きるということ
障がいを抱えた家族と生きるということ」
報告:東北大学教育学部学生有志
コメント:名取市手をつなぐ育成会の皆さん

～話題提供～

- I 「障がいをもつ子たちも地域で支える」
特定非営利活動法人 きらりよしじまネットワーク
(山形県川西町)
高橋 由和 さん
遠藤 美喜子さん
遠藤 京介 さん
- II 「被災地で障がい児に向き合い続けて10年
そしてこれから」
特定非営利活動法人 奏海(かなみ)の杜
(宮城県登米市)
太齋 京子 さん

コーディネーター:石井山 竜平 さん
(東北大学)